

Violin & Piano  
デュオ・リサイタル  
Celebrating  
Korean & Japanese  
Music

# YEZU WOO TOMOKI PARK

禹 藝珠 violin  
朴 知利 piano

プログラム：

BEETHOVEN VIOLIN SONATA OP.96  
ISANG YUN INTERLUDIUM A  
TAKEMITSU HIKA/悲歌

-----  
ISANG YUN KÖNIGLICHES THEMA  
TAKEMITSU FROM FAR BEYOND  
CHRYSANTHEMUMS AND NOVEMBER  
FOG/十一月の霧と菊の彼方から  
SCHUBERT FANTASIE IN C

2018/6/17 (日)

14:00 開演 (13:30 開場)

横浜美術館レクチャーホール

入場料・2500円 (当日券のみ)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目4番1号

TEL : 045-221-0300

お問い合わせ: [tickets.yokohama.concert@gmail.com](mailto:tickets.yokohama.concert@gmail.com)

後援：駐横浜大韓民国総領事館、横浜日韓親善協会、  
tvk (テレビ神奈川)



横浜美術館  
YOKOHAMA MUSEUM OF ART



# VIOLIN AND PIANO デュオ・リサイタル CELEBRATING KOREAN & JAPANESE MUSIC

## ヴァイオリンとピアノのデュオ・リサイタル ～韓国と日本の音楽を讃えて～

### 演目：

ベートーベン「ベートーベン：ヴァイオリンソナタ 第10番 ト長調 Op.96」  
尹伊桑（ユン・イサン） 「インターディウム A (1982) ピアノ・ソロのための」  
武満徹 「悲歌 (1966) ヴァイオリンとピアノのための」  
尹伊桑 「大王の主題 (J.S. バッハの「音楽の捧げもの」による) (1976) ヴァイオリン・ソロのための」  
武満徹 「武満徹：十一月の霧と菊の彼方から (1983) ヴァイオリンとピアノのための」  
フランツ・シューベルト 「ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 ハ長調 D934」

### デュオとしての活動

ウ・イエジュ（バイオリン）と朴知利（ピアノ）はバード大学音楽院で共演が始まりました。以来、ニューヨークリンカーンセンター、カーネギーホール、そしてベルリンやヴェネチア、韓国春川などで演奏を重ねて参りました。2016年、ボルダー国際室内音楽コンクール「アート・オブ・デュオ」のファイナリストにも選出されました。二人の演目はバッハやモーツァルトから20世紀・21世紀の現代音楽と幅広く、二人が尊敬し愛する武満徹、ユン・イサンも含まれます。

韓国の伝統音楽や現代音楽、そして詩歌から影響を受けて作曲された新しい楽曲のプロモーションをしているニューヨーク市アンドリューパーク財団の支援の下、2018年はウ・朴で作曲コンクールを主催。コンクールの締めくくりとして、2人の演奏を含め、受賞者とニューヨーク州メルキンホールにて2018年12月16日コンサートを開催予定。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

[www.andrewparkfoundation.org/en/composition-prize](http://www.andrewparkfoundation.org/en/composition-prize)

### 朴知利（パク・トモキ）

1990年横浜に生まれる。

11歳よりイギリスパーセル音楽院に留学、テッサ・ニコルソンに師事。その後ベルリン芸術大学を卒業。ベルリン芸術大学ではパスカル・ドヴァイヨンとリカコ・ムラタに師事する。現在フルスカラシップを得て、バード大学音楽院にピーター・セルキンの師事のもと在学中。

2006年第14回東京ヤングアーティストコンクールにて最優秀賞を受賞、その後ドイツ・エトリンゲン、第10回国際ヤングピアノコンクールにて受賞。13歳で初のコンチェルトコンサートをイギリスで行う。その後ロンドンウィグモアホール、サウスバンクセンターなど、ヨーロッパ、アメリカで幅広く活動。

近年の活動としては、ピエールブーレズ音楽祭、モーツァルトリサイタル（ザルツブルグ）、サクラメント・フィルハーモニーとバッハ、武満徹のダブルピアノコンチェルトを師事しているピーター・セルキンと共演。

### 禹藝珠（ウ・イエジュ）

ドイツフライブルグに生まれる。

マンハッタン音楽学校（学士）にてアルバート・マルコブに師事、ジュリアード音楽院（修士）にてキャサリン・チュオに師事、そして昨年バード大学のローリ・スムクラ師事の下、演奏課程を修了。現在ストニーブルック大学博士後期課程に在学中。

2004年カーネギーホールでデビュー。このコンサートにて最年少でパガニーニの奇想曲全24作品を単独演奏。以来国連の招待によりリンカーンセンター、ウィーン音楽協会など、幅広く演奏。共演はニュージャージーシンフォニー、ルーマニア国立コンスタンザオーケストラなど世界各国幅広く活動。

受賞歴は音楽評論委員会より2004年「年間最優秀ミュージシャン賞」、韓国江原芸術支援団体より2005年「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」。現在、彼女の故郷、韓国春川の「ニューヨーク・イン・春川音楽祭」の芸術監督を務め、春川の名誉大使に任命される。